

HAWORTH

従業員に提供する 最適な勤務体験の体現

2021年3月

ケーススタディ
ITインフラストラクチャの
グローバルプロバイダー

ロケーション
フィリピン、マニラ

デザイン会社
IA Interior Architects
Group 3 Design Studio



今日、そして未来のニーズに合わせた柔軟な
ワークスペースを人々にどう提供しますか？



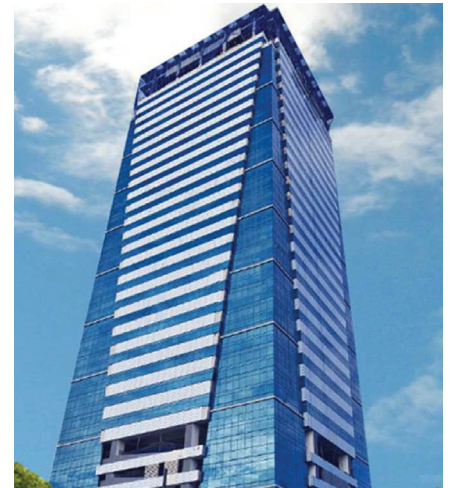
概要

2014年以來フィリピンで事業を展開しているこのクライアントの希望は、以前の場所では別々のフロアに分割されていたオフィスを一箇所に統合する事でした。従業員の勤務体験を最適化する多様な適用を兼ね備えた、アクティビティベースのワークプレイスを構築することが目的でした。

このプロジェクトは、クライアント、建築家、そしてハイワースから選出された北米チームとフィリピンチームの緊密なコラボレーションにより実現されました。また、プロジェクトはリモート形式で遂行され、異なるタイムゾーンからある程度隔離的な環境で作業にあたりました。すべてのディスカッション、交渉、取引の成立はロックダウン中に実施されました。そのため、コミュニケーション、正確さとチームワークは必要不可欠な要素でした。

このプロジェクトはハイワースのグローバルな専門知識を実証するだけでなく、チームの結束力を体現するものとなりました。

仕様:



ロケーション
フィリピン、マニラ

プロジェクト仕様
プロジェクト実施期間: 24週間
(フェーズ1および2)

プロジェクトサイズ
6,817m²
5フロア
982ワークステーション

目的

人間工学に基づいた作業環境を作成し、従業員が作業、コラボレーション、リフレッシュできる代替スペースを提供する。

ソリューション

1日の業務を通して変化する従業員のニーズをサポート可能な総合的なワークプレイスを提供する。

結果

個人のウェルビーイングを最優先し、チームにリラックスした雰囲気を生み出しながら、機敏性の高いワークスタイルの発展をサポートするようなレイアウトの実現。



最高の勤務体験を提供

理想的には、ワークプレイスが各自の仕事における責任を果たすためのリソースを提供できることです。物理的なワークプレイスがこれらのニーズをカバーする度合いは、企業が従業員のニーズを満たすことをどれほど優先的に考えているかを示す指標となります。

このため、プロジェクトチームは従業員を企業の最大の資産として認識し、ワークプレイスだけでなく生活空間でもあるスペースを通じて、従業員のウェルビーイングとパフォーマンスをより適切にサポートできるような人々を中心とした再設計を行いました。



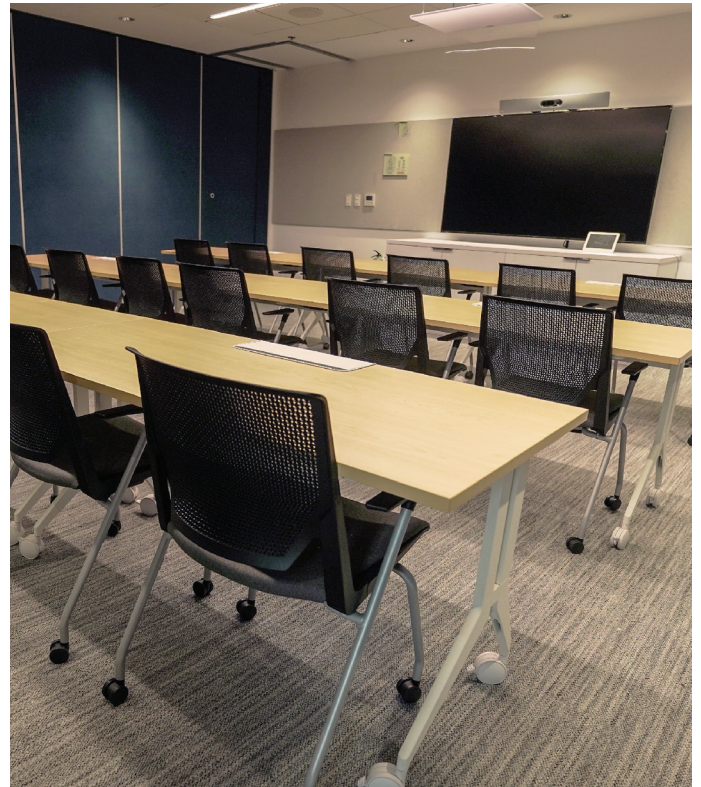
オープンなプロダクション・エリアには、ソフトウェアをコーディングするプログラマーの快適さと効率性のニーズに対応するため、人間工学に基づいた高さ調節が可能なテーブル(HAT)とSojiタスクチェアを配しました。

ワークプレイス内とライブラリーに隣接した空間に、休憩ルームを設置しました。休憩時間の提供とプライバシーを保てるよう、ラウンジ家具とカーテンを配しました。

アクティビティベースの作業環境は、従業員の行動を反映しています。

人々と彼らが行うタスクに焦点を合わせたワークプレイスには、1日中活動をサポートするセッティングが提供されています。

オープンなプロダクション・エリアや休憩ルームに加え、クライアントは静かな空間も提供したいと考えていました。オフィスに柔軟なスペースがない場合には、静かな空間はミーティングルームとなります。そのため、ミーティングが予約制であるかに関わらず、多くのオフィスはミーティングのためにより広いスペースが必要となります。この課題に対し、オーディオ、ビデオ、およびディスプレイ・ソフトウェアを備えた小さなミーティングゾーンを提供するハドルルームを解決案として提供しました。



これにより、従業員は4～10名範囲のさまざまなミーティングルームから自由に選択ができるため、より良い勤務体験を実現することができるようになりました。大規模なビデオ会議やトレーニングセッションに参加する必要がない場合は、ハドルルームで少人数のグループでの会議を設けることができます。

プライベートな会話や短時間の作業集中には、フォンブースも活用できます。



従業員に十分な休憩時間の確保を促すライブラリーは、5フロアすべてに設置されています。休憩ルームを補う場所として、隠しドアからアクセスできるライブラリーも隣接して設計しました。落ち着きと快適さを実現するため、ライブラリーにはアットホームな雰囲気を生み出すようにデザインされています。

さらに、授乳中の方のために専用スペースも提供しています。オフィスにマザーズ・ルームを設けることで、女性従業員のキャリアと家族のバランスを保つサポートを提供しています。

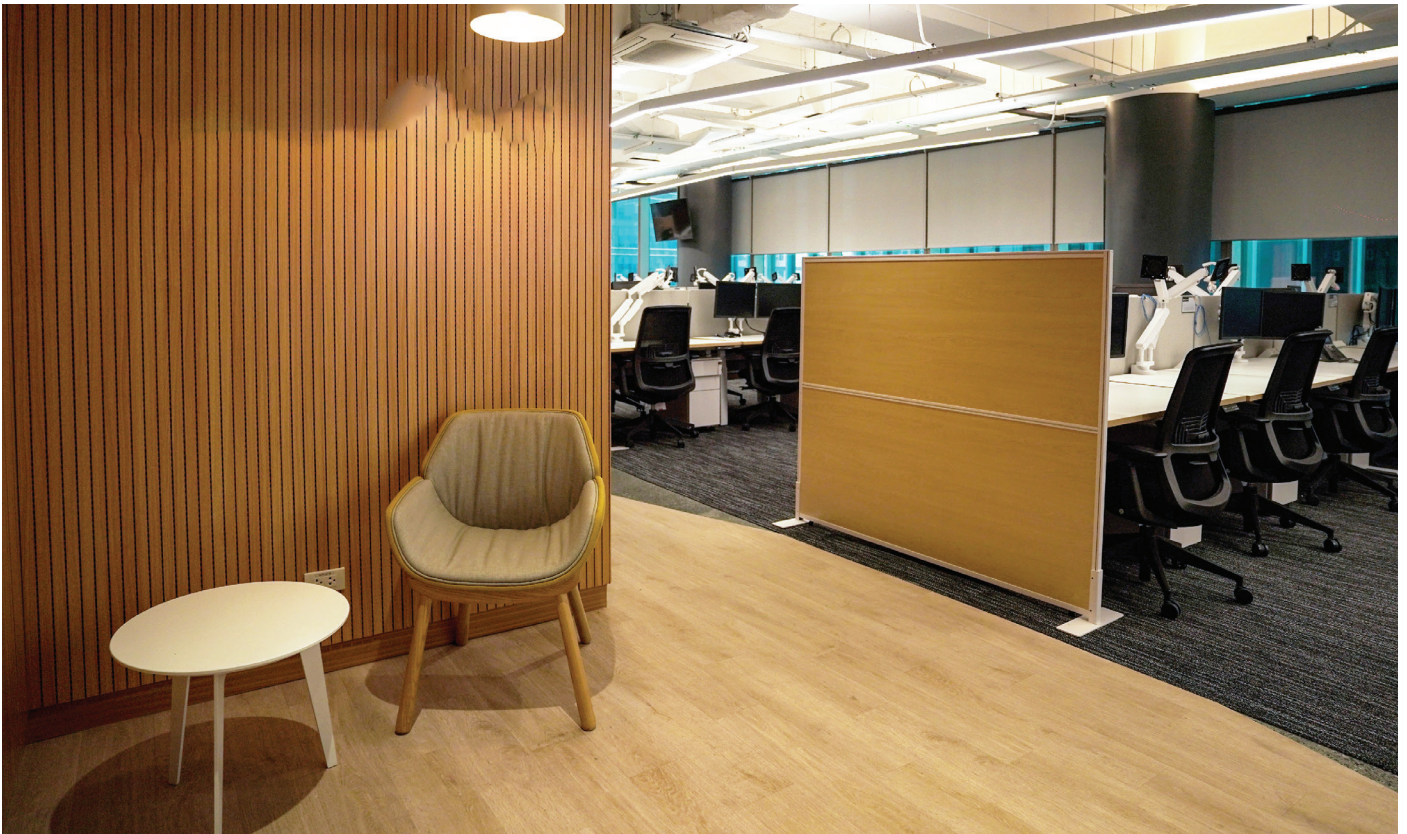
コラボレーションを促進するソーシャルスペースの作成

総じてオフィスに向かう理由は、日常的に社会的な交流が交わされる環境を得られることです。そして、それは従業員と雇用者の両方に同様の価値があります。

ゲームルームとパントリーエリアは、従業員のエンゲージとアイデアのシェアを促進します。昼食時に交わされたカジュアルな会話がアイデアを刺激することもあります。コーヒーメーカーの所に行く途中で同僚に出くわしたり、スクラブルやテーブル・フットボールを一緒に楽しむことが、コラボレーションにつながることもあります。そして、こうした理由こそがクライアントがソーシャルスペースの作成を希望した理由なのです。



ゲームルームやカフェテリアは、偶然の会話や様々な人々との交流やつながりを促します。



多様なワークプレイスがあることで、従業員は自分のスタイルに最も合い、生産性の向上を感じられる場所を働く場所として選ぶ自由を得られます。引き渡し時にクライアントからいただいた満足度調査結果は、完璧な満足度を示すものでした。

提供機能：

- オープン/プロダクションオフィス
- プライベートオフィス
- トレーニングルーム
- フォンルーム
- ハドルルーム
- ミーティングルーム
- ミーティングルーム(大)
- 休憩ルーム
- オープンコラボレーションエリア
- ライブラリー
- レセプション
- カフェ/ オールハンズエリア/パントリー
- ゲームルーム
- クリニック
- マザーズ・ルーム
- 休憩ルーム

使用されているハイワース製品：

- HAT Elements
- Tibas
- Planes
- Intuity
- Sojiタスクチェア
- Veryサイドチェア
- M Seriesモバイル式デスクワゴン
- Zgonicダブルモニターアーム
- Poppyラウンジ
- Mariaテーブル
- Audienceミーティング用
- Boss Design Kruzeチェア(HC)
- GANラグ(HC)
- 他社提供のルースファーマニチャー